北海道新聞　30年11月30日（朝刊・小樽後志）

北海道の魅力 ロシアでPR

樽商大研究員らセミナーで渡航へ

小樽商科大研究員など小樽を中心とする大学関係者らが12月2～7日、ロシア・サンクトペテルブルクで、日ロ人材交流・育成セミナーを開く。日本文化や北海道の観光地をロシアの学生に紹介することで旅行や留学を促し、将来的には日ロを結ぶビジネスに関わる人材を育成する狙いだ。（有田麻子）

海外と日本の大学間交流を支援する文部科学省の「世界展開力強化事業（ロシア）」の助成を受けて実施。小樽商大研究員の高野宏康さん(44)＝歴史民俗資料学＝、同大4年でロシア・ウラジオストクの極東連邦大学への留学経験がある山保直之さん(22)、小樽で

餅店の前で映像を制作する（左から）高橋匠美さん、山保直之さん、手前が高野宏康さん

文化紹介の動画持参 留学や交流促す

バレエとロシア語の教室を主宰する高橋匠美さん(37)、公立はこだて未来大の辻義人准教授（教育工学）の4人が赴く。

現地ではサンクトペテルブルク国立大学、サンクトペテルブルク州立映画テレビ大学の学生を対象にセミナーを開く。また、日本語会話レッスン、日本への留学を希望する学生に対する相談会、北海道をPRする交流会を実施する。今後の交流促進のため、ロシアの大学制度の調査やテレビ局の視察も行う。

日本文化を紹介する映像やスライドを準備している。今月8日には和菓子店「ツルヤ餅菓子舗」（花園3）で餅を買い、餅が好まれて和菓子店の多い小樽の食文化を高橋さんと山保さんがロシア語で説明する様子を動画撮影した。

サンクトペテルブルク国立大学国際ジャーナリズム学部を2011年に卒業した高橋さんは「日本や北海道の良さを知らないロシア人学生は多い。言語や文化に親しんでもらい、日本とロシアをつなぐ懸け橋になりたい」と話している。